

1. 科目名 (単位数)	子どもと健康 (2 単位)	3. 科目番号	SSOT2424
2. 授業担当教員	中村裕】		SCOT2424
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	保育内容「健康」・子どもの保健との関連性をもて、理解が深まる。		
7. 講義概要	<p>本授業では、領域「健康」の指導に関する、乳幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。具体的には、</p> <p>① 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味 ② 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成 ③ 安全な生活と怪我や病気の予防 ④ 乳幼児期の運動発達の特徴と意義</p> <p>これらの事項について理解する。</p>		
8. 学習目標	<p>1) 乳幼児の心と体、運動発達などの健康課題を説明できる。 2) 健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。 3) 乳幼児の体の発達の特徴を説明できる。 4) 乳幼児の基本的な生活習慣の形成とその意義を説明できる。 5) 乳幼児の安全教育・健康管理に関する基本的な考え方を理解している。 6) 乳幼児期の怪我の特徴や病気の予防について説明できる。 7) 危険に関しリスクとハザードの違いと安全管理を理解している。 8) 乳幼児期の運動発達の特徴を説明できる。 9) 乳幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。 10) 日常生活における乳幼児の動きの経験やその配慮など身体活動の在り方を説明できる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>子どもの健康に対する各テーマ：発育・発達、遊び、安全管理・教育、疾病・けが等について保育者としての立場から自分の考えについて述べる (発表およびレポート)</p> <p>発表後、またはレポート提出後、「課題」とし、グループごとにディスカッションをする。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 健やかな育ちを支える 領域「健康」上野奈初美 [編著] ミネルヴァ書房</p> <p>【参考書】 「幼稚園教育要領」(平成 29 年告示) 文部科学省 「幼稚園教育要領解説」平成 30 年 3 月文部科学省 「保育所保育指針解説」平成 30 年 3 月厚生労働省編 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」平成 30 年 3 月内閣府/文部科学省/厚生労働省</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度(自分の意見を述べまた他の学生の意見をしっかり聴くこと) ・毎時、分かりやすい表現・明瞭かつ論理的な振り返りのレポートを作成できたか。 ・グループワーク及び発表を前向きにできたか。 <p>○評定の方法</p> <p>1, 授業への積極的参加態度 50% 2, 毎時の振り返りレポート 30% 3, 発表 20%</p> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>健康は生活の基本であることは言うまでもない。幼児期に健康的な生活習慣を身につけることや、健康に対する意識を持つことは、大人になってからの生活の基盤づくりである。幼児期からからだに対する興味や関心を持たせることが保育者の役割である。また、乳幼児期は自分のからだを管理することは不可能に近いので、保育者の指導・援助方法を学ぶことがもう一つの役割である。本講義は子どもが健康な生活を送るために何を身につけるべきかを学ぶことを第一条件とし、保育者自身の健康にも着目することで自らの生活習慣も振り返り、保育者自身も健康であってほしいと願っている。</p> <p>本講義は主にディスカッション形式で進める為、意見や考えを積極的に述べる授業参加を期待する。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 健康の定義と乳幼児期の健康の意義	事前学習	教科書 p.p1~5 まで熟読しておくこと
		事後学習	幼児にとって健康の意義をまとめておく。
第 2 回	領域「健康」のねらいと内容 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいと内容	事前学習	教科書 p.p6~23 まで熟読しておくこと
		事後学習	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいと内容の理解を深める
第 3 回	健康指導の基本 健康指導と環境・遊びを通しての指導	事前学習	教科書 p.p23~28 まで熟読しておくこと
		事後学習	健康指導の基本をまとめておく
第 4 回	幼児の発育と発達① 発育と発達との違い・形態的発育と評価の意義	事前学習	教科書 p.p29~44 まで熟読しておくこと
		事後学習	発育と発達の違いを理解する事と評価の必要性と意義を理解する
第 5 回	幼児の発育と発達② 機能的発育・生理的側面	事前学習	教科書 p.p48~61 まで熟読すること

	神経系・体温・体液・呼吸・循環・消化・排泄機能・免疫・感覚器・睡眠について	事後学習	機能的発育や生理的発育について理解を深めること
第6回	幼児の運動① 幼児の運動遊びの指導・体の発達と運動遊びから知的能力の発達と運動遊び	事前学習	教科書 p.p71~87 まで熟読しておくこと
		事後学習	幼児の運動遊びや指導法を理解しまとめる
第7回	幼児の運動② 運動機能はどのように育つか 最近の子どもの実態「3つの間」から	事前学習	教科書 p.p88~99 まで熟読すること
		事後学習	運動能力と運動の違いや最近の子どもの運動能力・体力低下の原因を理解する
第8回	基本的生活習慣 保育の現場における生活習慣 園の生活習慣における指導	事前学習	教科書 p.p103~127 まで熟読しておくこと
		事後学習	基本的生活習慣とは何か。生活習慣の子どもに対する指導について理解を深める
第9回	食育の基本と食生活の現状と課題 保育施設における食育の進め方 食物アレルギーの対応	事前学習	教科書 p.p133~164 まで熟読しておくこと
		事後学習	近年の食事における問題点は何か。自分の食事を振り返り考えをまとめる。
第10回	幼児の保健 保育現場における健康管理 応急処置	事前学習	教科書 p.p165~181 まで熟読しておくこと
		事後学習	日常の健康観察（視診）の重要性を確認しておく。乳幼児期の感染症をまとめて理解する
第11回	発達障害① ADHD、自閉症スペクトラム症の発達課題	事前学習	教科書 p.p186~190 まで熟読しておくこと
		事後学習	ADHD や自閉症スペクトラム症の特徴をまとめ、支援の仕方を確認しておくこと
第12回	発達障害② 第11回講義以外の発達障害	事前学習	現在存在する発達障害を調べておくこと
		事後学習	講義で学習した発達障害の特徴をまとめ、支援や援助、接し方を確認しておくこと
第13回	保育における安全管理・安全教育 安全管理と事故の動向と現状 自然災害における安全教育と安全管理	事前学習	教科書 p.p191~206 まで熟読しておくこと
		事後学習	保育現場における子どもへの安全教育と安全管理についてまとめ理解を深める
第14回	多様な保育ニーズへの対応 異文化理解・多文化共生 インクルーシブ保育への対応	事前学習	教科書 p.p215~221 まで熟読しておくこと
		事後学習	これからの異文化・多文化保育を理解し、特別配慮が必要な子どもへの対応をまとめる
第15回	園行事の意義 運動会や園外行事（散歩、遠足、お泊まり保育）	事前学習	教科書 p.p228~230 まで熟読しておくこと
		事後学習	園外保育を実施する意義を理解し、行事の安全管理と安全教育について確認する